

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	24-1	
PDCA	主要事業名	亀崎地区無電柱化等整備事業	部課名	建設部都市計画課	担当	林	
					内線	447	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 2 単位施策： 景観・公園 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 8 年度 全体事業費等： 555,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.05.05.02.54						
	事業概要等	事業概要： 景観形成重点地区であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートである亀崎仲町通りを無電柱化し、景観に配慮した道路整備を実施する。 事業目的： 景観形成重点地区として相応しい景観形成を推進する。 事業内容： 亀崎仲町通りの無電柱化に向けた実施設計業務を行う。 問題点・課題等： 無電柱化の実施に際して、電線管理者や地元住民の合意形成が必須となる。					
	予算額	主要事業とする理由					
	8,096 千円	ユネスコ無形文化遺産に登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートが無電柱化することで、亀崎仲町通りの景観形成を図るため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 3,696 千円	景観形成重点地区であり、亀崎潮干祭（ユネスコ無形文化遺産）の山車の運行ルートでもある亀崎仲町通りの良好な景観形成が図られる。					
	国費 4,400 千円	目標値や目指すべき状態					
	県費 0 千円	無電柱化事業の進捗率	実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
	その他 千円		目標値	—	1.7	—	%

目標項目（予算計上時に作成）  
予算見積書で活用

D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果				
	8,030 千円	亀崎仲町通りの良好な景観形成を図るために行う無電柱化について、電線共同溝の整備計画を策定した。これにより、工事の実施に進めることができた。				
		成果指標			令和4年度	単位
		無電柱化事業の進捗率	実績値	3.2	%	
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 地元協議会の協力を得る中で、電線管理者や地域住民との協議を重ね、電線共同溝の整備計画を策定することができた。今後は、地域住民の理解を得ながら、令和8年度の完了に向け、工事を進めていく必要がある。				
	A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	<b>現状維持</b> 令和8年度中の工事完了を目指し、計画的に事業を進める。令和5年度は、電線管理者や地域住民との協議・調整を図り、工事を進めていく。			
観点別評価		必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ない	
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない			

評価項目（決算時に作成）  
主要施策の成果報告書で活用